

今日の力

翻訳 阿部 やよい

編輯 岩田欣三

御茶の水キリストの教会

谷間の静けさ

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ピリピ 4:6-7

妹が最近この恐ろしい言葉を聞きました。しかし妹の心は折れていないようです。彼女は、彼女と同じく彼女の家族の祈りも神は聞いてお答えくださることを信じており、がんに対して不安を感じたとしても、神の平安が彼女を満たしてくださると信じて疑いません。

詩篇23編は、なぐさめと平安が必要な時によく読まれます。『たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても・・・』(4節)。ここに私たちの希望へのカギがあります。それは、私たちは谷に居続けることはないということです。私たちのそばにいてくださる神とともに私たちは谷を抜けることができますのです！ 谷間の平地は新しい見晴らしの良い場所となるときがあります。視線を上にあげれば、信仰によって、私たちは私たちの強さと希望の源を見ることができます。

希望は太陽のようなものである。それに向かって旅をし、
我々が背負う重荷の影を我々の後ろに作るのである。

——サミュエル・ヌマイルズ

讃美歌 312
祈り
ご在天のお父様。私たちの希望はイエス様とイエス様が約束してくださった平安があってこそです。いつも祈り、全ての心配事をあなた様にゆだねることができますようお助けください。
イエス様の御名によって。アーメン。

キャロル・ロジャス
コロラド州 プエブロ

9月18日(火)

恵み（不動の愛）

聖書朗読 詩篇 26編

あなたの恵みが私の目の前にあり、

詩篇 26：3

ダビデは神のみこころに従って誠実に人生を送ろうとしました。ダビデは一生をかけて神を心から愛し、信じました。彼にそうさせたのは、彼の目の前にある神の恵みでした(3節)。パウロの言葉「キリストの愛が私たちを取り囲んでいる」と比べてみましょう。パウロは生涯を、神のために、そしてみこころを行うことに捧げました。それは、パウロは決して罪を犯さなかったというわけではありません。ダビデの人生は次の言葉で要約されます。「ダビデは主の目にかなうことを行って、一生の間、主が命じられたすべてのことに背かなかった」。ただ、悲しいことに「ヘテ人ウリヤのことに限って以外は」という言葉が続きますが。

初めは、ダビデは罪を隠そうとし、その罪悪感に非常に苦しみました(詩篇32:3)。しかし結局、「私は、自分の罪を、あなたに知らせ、私の咎を隠しませんでした。私は申しました。『私のそむきの罪を主に告白しよう。』すると、あなたは私の罪のところがめを赦されました」とパウロは言いました。赦しという大きな恵みを受けたダビデはその後人生を神にお仕えし続けることができたのです。

讃美歌 448

祈り わがお父様。あなた様の慈しみに心から感謝いたします。そして心からみこころを行い、あなた様を賛美したくなるようにお祈りいたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

ハービー・フロイド

テネシー州 ナッシュビル

9月19日(水)

人生は儚きものの

聖書朗読 詩篇 39：1～5

私たちに、自分の日を正しく数えることを教えてください。そうして私たちに知恵の心を得させてください。
詩篇 90：12

この詩編の中で、ダビデは人の命の儚さを痛感していました。多くの詩篇の作者も同じようです。モーセは書いているうちにこの考えが浮かびました。『千年もきのうのように過ぎ去る』(詩篇 90：4)。ダビデは神に彼の命の終わりを教えるように求めました。もし実際ダビデが自分の命の長さを知ったとしたら、その時彼は喜んだでしょうか？ ダビデは自分の命と神の命を比べるという過ちを犯しました。『私の日を手幅ほどにされました。』

私たちは自分の命を、突然の病や悲劇で命を絶たれてしまった人々と比べるべきです。主が私たちに与えてくださった命に心から感謝すべきです。もし神が私たちに与えてくださった命の長さが40年だとしても、80年だとしても、どちらでも自分の命の長さ比べて変わって欲しい願う人はいるはずです。『あなたがたのうちだれが、心配したからといって、自分のいのちを少しでも延ばすことができますか。』(マタイ6：27)

モーセの決意は、毎日を一生懸命生きることでした。私たちの日々はかぎられています。ですから、日々を賢く生きる責任があります。私たちの日々を、神を愛すること、隣人を愛することに捧げましょう。

讃美歌 第二編 107

祈り 聖なるお父様。命の儚さにおびえないよう助けてください。その代りに、与えてくださった命に感謝することができるようお助けください。あなた様が与えてくださる毎日に感謝いたします。この日々をあなた様を賛美することに使えますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケン・スコット

テネシー州 ナッシュビル

9月20日（木）

人 生 を 捧 げ る

聖書朗読 詩篇 40：6～8

あなたは、いけにえやささげ物を望まないで、わたしのために、からだを造って下さいました。
ヘブル 10：5

正義や自由を喜んで手放す人はほとんどいないでしょう。モーセの律法では、奴隷は6年間の奉仕の後は自由になれると定められていました。しかし、もし奴隷がその主人を愛し、主人のしもべのままでありたいと望むのなら、その奴隷は耳に穴をあけることで主人のもとに続けることができました。その後、奴隷は主人に一生を捧げるのです。

奴隷のままい続けることを望んだ謙虚な奴隷のように、ダビデは彼の主を信じました。ダビデは喜んで主の命令を待ち望み、主の御心に従うため自身の自由を手放しました。「ああ神よ、御心を行うため、私はここにいます」。しかし、もっと広い意味では、これらはキリストの言葉でした。

ヘブル書の著者は、キリストによるいけにえがどれだけ優れているかを伝えるため、原書ではあなたが穴をあけて私の耳というところを、『わたしのためにからだを造ってくださった』と訳している七十人訳聖書を使ってダビデを引き合いに出しました。旧約聖書のように、新約聖書でもいけにえを求めました。しかし、そのいけにえはたった一度だけでした。それはどのいけにえよりも素晴らしいものでした。キリストご自身が、約束された一度だけの、そして何よりも神に最も近い完璧な血のいけにえとなりました。キリストはご自身の体を、私たちを聖なるものとするためにお捧げになりました。そのおかげで、私たちは「我が主よ、今ここに」（讃美歌205）を歌うことができます！

讃美歌 205

祈 り 主よ。今私たちは、イエス様が自ら捧げてくださった栄光の穴がけられた御体を思います。私たちの罪をお許しくださったことに感謝いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

ジェリー・ブライアン
ミシガン州 タイラー

9月21日（金）

真 の あ る じ

聖書朗読 詩篇 50：1-12

世界とそこに住むものは主のものである。

詩篇 24：1

賢い説教者があるとき言いました。「金は汚れたもの。金はあなたのものでも、私のものでもない。全て他の誰かのものである」。

詩篇 50：12は、神はすべてのものの真のあるじであることを教えてください。空、気、月、太陽、草、水、動物、人間、全ては神のものです。

ですから、神は人を必要としていません。神はお金を、贈り物を、賞賛でさえ必要としていません。神は人からのものを何一つ必要としていません。しかし、人は神が与えてくださるものすべて、赦し、恵み、永遠の命が必要としています。

この真理を知することは、私たちは自分があるじではなく、仕える者であることを知る助けとなります。パウロは言いました。『私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持って出ることもできません。』（Iテモテ 6：7）。私たちは、私たちには神が必要であるという謙虚な気持ちと、そして神に途切れることのない感謝の気持ちを持って神に近づくべきなのです。

讃美歌 90

祈 り お父様。あなた様がしてくださったすべてに感謝いたします。それよりもあなた様存在すべてに感謝いたします。お父様が私たちに使わせてくださっている恵みのよき使い手となれるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

エドワード・L・ロビンソン
テキサス州 テレル

9月22日（土）

罪 と 断 絶

聖書朗読 詩篇 51：1～17

神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。

詩篇 51：10

それは勢い余って犯した罪なんてものではなく、彼の慚愧の念は名声を汚したことへの後悔以上のものがありました。彼の罪は神の愛を汚し、親密な関係を壊しました。エデンの園の二人のように、誰もが主から隠せると思っているように、彼は罪を隠そうとしました。彼は神から離れてしまいました。それは罪を犯すことよりより耐え難いものでした。

罪はいつも私たちを神から断絶させます。ダビデは何世紀も後のイエス様が十字架上で感じたのと同じく見捨てられたように感じました。ダビデは神の御顔がもう一度彼に向くように願いました。ダビデは神のもとにいる心地よさよりも、自分の要求を満たす気持ちよさを選んでしまいました。ダビデは罪を犯す以上のことをしていました。彼は神に対して反抗したのです。

ダビデは、自分は責められるべきであることを認めました。ダビデは知らなかったと弁明することも、自分は国王あるから特別なはずとも、弱さに負けたとも言ひ訳をしませんでした。ダビデの完全に開かれた心が、神のご性質であり、神は誰に対しても与えてくださる恵みと赦しを引き寄せました。

讃美歌 第二編 167

祈 り 親愛なる主。罪のためにあなた様から離れてしまったときに私たちが汚してしまったものをもとの状態に戻していただき感謝いたします。罪の深刻さを知り、清い心で続けるために告白し悔い改めらえるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ビル＆アン・ヤング

コロラド州 モニュメント

9月23日（日）

最 高 主 権 者

聖書朗読 詩篇 93編

いと高き方の隠れ場に住む者は、全能者の陰に宿る。

詩篇 91：1

私たちは、幸いにも国のリーダーを自分たちで選べる国に住んでいます。独裁政権下で暮らすなんて想像もできません。様々な形で現れる人の力が世界各国で衝突しています。その最たるものが世界中で起きている戦争です。

神は、戦争の中に私たちを置き去りにし、一人で戦わせているのでしょうか？ 神はもはやかつてのようにその場いなくなってしまったのでしょうか？ いいえ、どんな政府が、またはどんなリーダーが納めている国であろうと、神はその国の御座にいらして続けておられます。この地の人々に何が起きていようと、この先何が起きようと、御国の座は安全で安心できる場所です。

政情不安で荒れているように見えるときがあるかもしれません。国がどんなに荒れていようと、全ては神の手の中にあります。ばかげた言葉や行いは、人によって行われたのであって、神によってではありません。私たちは土で、神は陶芸家です。あなたの周りにある恐怖にばかり目をむけるのではなく、あなたの上にある御座に目を向けましょう。私たちすべての最高主権者がおられる御座を見上げましょう。

讃美歌 9

祈 り 親愛なるご在天のお父様。あなた様は唯一の最高主権者である神です。あなた様と、あなたさまの計画に勝るものはありません。私たちを治め、管理してくださり感謝いたします。あなた様の命令を信じて従うことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョシュ・バーネット

テネシー州 ナッシュビル